

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
猛暑の中にも秋の気配。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 奈良市学童で昼食提供スタート

■ 1 ■ 奈良市学童で昼食提供スタート

奈良市では、この夏休みから学童で昼食の提供を始めました。公設公営の学童として
は全国初で、対象は全43か所約3800人。市内外の弁当・給食事業者に委託して
弁当を配達。弁当は1食350円で、保護者が250円を負担し、市が100円を補助する
そうです（18年度の予算は7170万円）。

このことが紹介された日本経済新聞の記事（7月31日付）の中で、きゅうしょく
カンガルー！が注目したのは、事前試食会についての部分です。以下抜粋します。

『奈良市は夏休みの前に、学童保育の児童に提供する仕出し弁当の試食会を開いた。
保護者からは歓迎の声に加え、思わぬ反応も見られた。

小学5年生の娘を持つ母親は「もっと子供らしいメニューがよかった」と本音を
ぼつり。別の保護者は「ハンバーグなどの洋食じゃないと、うちの子は食べない
かも・・・」と心配顔だ。

市が委託した事業者の弁当は、焼き魚や煮物など和食が中心。市側は「栄養バ
ランスを最優先にメニューを考えた」と説明したが、保護者からは「再考してほ
しい」との要望が出た。

市は子供が喜ぶゼリーや照り焼きハンバーグなどをメニューに追加。担当者は「保
護者の要望を百パーセントかなえるのはなかなか難しいが、今後も改善してい
きたい」と話していた。』

きゅうしょくカンガルー！の交流会に来てくださる保護者の意見の多数は、添加物や農薬や放射能の心配のない食材・地元産の食材を使って、できるだけシンプルな調味料で味覚を損なわない味つけや和食を希望するというもので、今回新聞で紹介されている保護者の要望とは正反対ともいえます。私たちは、こどもが将来大人になったときに、自分で食を選ぶ力がつくようなメニューが必要であり、それこそがほんとうの食育だと考えています。

記事の中に「子供らしいメニュー」「子どもが喜ぶメニュー」という表現がありますが、私たちは取材や試食会を通して、野菜でも何でもほんとうに美味しければ喜んで食べる子どもたちの姿を見てきました。私たちの目指す「おいしい給食&ほんとうの食育」とはどのようなものか、もっともっと輪を広げながら、考えを深めていきたいと改めて思いました。

秋にはまた交流会を開催します。これまで参加したことのない方にも来ていただき、輪を広げていけるように、準備していきたいと思えます。

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー！(奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内(奈良市今市町 40-1)
